

子どもの人権ビデオ・DVD

番号	題名	内容	媒体	時間 (分)
430	夕焼け(ヤングケアラー)	自分の気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーが、元ケアラーとの交流によって変わっていく様子を描いています。	DV D 2021	35
419	君が、いるから	主人公は母親からの虐待に苦しむ若者です。自己肯定感の低い彼女は、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。そこでの出会いを通して新たな価値観に気づいていく、希望の種をまいていく社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	DV D 2018	33
416	いじめ 心の声に気づく力	子どもたちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍聴者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめの行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍聴者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。	DV D 2018	19
365	夜回り先生 水谷修のメッセージ	夜回り先生と呼ばれるようになった水谷修の生き様を、「魂のメッセージ」である講演会映像を中心に、インタビューを織り交ぜて紹介しています。	DV D 2005	90
321	響け 大地に ひとの心に	子どものいじめや外国籍の人たちをめぐる問題を取り上げ、人権問題を自分のこととして考えるよう「気づき」や「行動」の大切さを伝えます。	DV D 2008	30
221	心の応援歌	思春期になると子どもは、今までと違う態度や行動をとるようになります。子育てに対する自信が揺らいでいる親へのヒントとして、「思春期」をキーワードに、専門家からのアドバイスや子ども達自身からの声などを集めたビデオです。	VH S 2001	26
164	いじめ14歳のメッセージ	ある中学校。どこにでもある昼休みの教室。ひとりの生徒、慧佳(すいか)はふらふらと窓のほうに向かう。「キャーッ！」クラスメイトたちの悲鳴が響き渡る。宙に舞う慧佳のからだ。	VH S 2000	25
146	家庭の中の人権	親のこどもへの接し方、育て方について考えていきます。	VH S 2000	30